

2022 年度事業報告

2020 年（令和 2 年）からの新型コロナウイルス感染の世界的な拡大により、当財団でも、各種事業の中止や延期・管理施設の休止や利用制限などを余儀なくされましたが、当年度は、コロナ禍における事業や施設運営の在り方を模索し、感染防止対策を講じた上で、多くの事業を再開することができました。コロナ禍により、芸術・文化に直接触れる機会から遠のいてしまった藝文友の会会員をはじめとする地域の皆さまに、楽しさや感動を共有し心の豊かさを育む機会を提供いたしました。

当年度は、1982 年（昭和 57 年）3 月 27 日の設立から 40 年の節目を迎え、「芸術・文化を通じて潤いのある郷土づくり、豊かでゆとりある暮らしづくりに寄与する」という設立の趣旨に立ち返り、事業の在り方を考える 1 年ともなりました。

年度初めから月刊誌『常陽藝文』のメイン記事である藝文風土記の執筆者変更への対応に追われましたが、関係各位のご協力により毎月発行を止めずに乗り切りました。企画展示、学苑講座およびコンサート等の催事につきましては、コロナ禍で減少した施設利用の回復と利用者の更なる利便性向上を念頭に各種サービスを充実させるとともに、安全で安心して利用できる環境の整備を進めながら、事業計画に沿って実施いたしました。また、『常陽藝文』通巻 478 号、「ビデオライブラリー」217 作品のデジタル化を推進するなど、蓄積された情報資産を有効に活用するための基盤づくりを進めることができました。

厳しい社会環境や経済状況においても、当財団に蓄積された知恵と経験を十分に活かし芸術・文化の振興と公益の増進につながるよう、今後ともその責務を果たしてまいります。

以下、2022 年度の事業活動の実績につき報告いたします。

1. 全体に関する事項

(1) 会議の開催状況

【評議員会】

開催日	案 件		結 果
2022年 5月24日(火) 第1回	議案	2021年度事業報告	承認可決
	報告	2021年度決算報告	—
6月27日(月) 臨時・書面決議	議案①	2021年度決算書類承認	承認可決
	議案②	理事1名選任	承認可決
2023年 3月16日(木) 第2回	議案	2023年度事業計画および収支予算承認	承認可決

【理事会】

開催日	案 件		結 果
2022年 5月24日(火) 第1回	議案①	2021年度事業報告承認	承認可決
	議案②	2021年度決算承認	承認可決
	議案③	評議員会決議の省略 (1)2021年度決算書類承認 (2)理事1名選任	承認可決
	議案④	次回評議員会招集および提出議案	承認可決
12月16日(金) 第2回	議案①	2024年度藝文ギャラリー事業展示計画案	承認可決
	議案②	2024年度常陽史料館アートスポット展示計画案	承認可決
	議案③	次回理事会、評議員会の開催	承認可決
	報告	職務執行状況	—
2023年 3月16日(木) 第3回	議案①	2023年度事業計画および収支予算承認	承認可決
	議案②	次回理事会、評議員会の開催	承認可決

(2) 各種文化活動の後援等

形態	開催期間	名 称	主 催 者
後援	2022年 6月5日(日) ～6月12日(日)	第50回 茨城文化団体連合美術展	茨城文化団体連合
		他の関係団体〔後援〕茨城県、茨城県教育委員会、いばらき文化振興財団、茨城新聞社	
後援	10月10日(月) ～12月11日(日)	雨引の里と彫刻 2022	雨引の里と彫刻 2022 実行委員会
		他の関係団体〔後援〕茨城県、茨城県教育委員会、茨城新聞社 NHK水戸放送局	
後援	2023年 1月8日(日) ～2月2日(木)	であうアート展	流通経済大学
		他の関係団体〔後援〕NHK水戸放送局、常陽銀行 〔企画・協力〕NHKサービスセンター、グループ彩 生活工房	

(3) 40周年記念事業

① 文化情報誌『常陽藝文』のデータ保管

誌面のみで保存していた128巻のPDF化を実施、通巻478号全てのデータ保管が完了しました。

② 自主制作映像のデジタル化

地域の風物・作家の制作活動等を記録した 217 作品のデジタル化が完了、動画配信が可能な状態になりました。

2. ギャラリー事業

(1) 通常企画展

郷土に関わりの深い優れた作家の作品を展示する「郷土作家展シリーズ」を当センター1階藝文ギャラリーにおいて、年間6回開催しました。

期 間	展 覧 会 名	ジャンル	日数	入場者数	1日平均
2022年 4月1日(金)～5月29日(日)	山本浩之展	日本画	50	2,911	58
6月1日(水)～7月31日(日)	航海の中にて 加藤修展	現代美術	52	2,731	53
8月3日(水)～10月2日(日)	自由から自遊へ 由良りえこ展	陶芸	50	2,233	45
10月5日(水)～11月27日(日)	小杉放菴と 茨城の画家たち展※	日本画 洋画	46	2,563	56
2023年 11月30日(水)～2月5日(日)	わらぼっちの里 武石絹枝展	洋画	51	5,663	111
2月8日(水)～3月30日(木)	下妻市ふるさと博物館所蔵 市村緑郎展	彫刻	43	1,872	44
合 計			292	17,973	62

※「常陽藝文センター開館40周年記念」を冠し開催

(2) その他の企画展 (藝文プラザにて開催)

4月8日(金)～4月21日(木) 所蔵作品展『花を愛でる』

10月14日(金)～11月3日(木) 明治・大正生まれの茨城作家展

(3) 受託管理

【常陽銀行ショーウィンドウ展】

本店営業部：飯沼耕市（陶芸） 山口堅造・山口みちよ（金工） 田崎太郎（陶芸）

土浦支店：吉澤石琥（書）

平支店：由良りえこ（陶芸） 所蔵作品（彫刻・陶芸・金工）

(4) その他

2023年常陽銀行カレンダーの制作

3. 出版事業

(1) 文化情報誌『常陽藝文』の発行

郷土文化の発掘・記録・紹介を目的として『常陽藝文』を毎月発行しました。

メイン記事『藝文風土記』につきまして、創刊以来地域の歴史・文化・風物をわかりやすく伝えてくれた執筆者が4月号をもって引退しました。5月号以降はそれぞれのテーマの研究者等に執筆を依頼、または一部テーマを変更するなど柔軟に対応、定期発行（毎月1日）を堅持しました。

(2022年度発行部数：266,800部・月平均22,233部)

月号	「藝文風土記」テーマ [執筆者]	発行部数	当初予定テーマ
4月号	100年前のパンデミック「スペイン風邪」 [大曾根克彦]	23,000	(変更なし)
5月号	水族館のバックヤードを探る [インクライン 竹之内響介]	22,700	(変更なし)
6月号	【特集】詩人・山村暮鳥 [暮鳥会会長 加倉井東]	22,500	(変更なし)
7月号	常陸山の没後百年を偲ぶ [茨城県近現代史研究会会長 市村眞一]	22,300	宇都宮城釣り天井事件
8月号	謎多き武将・八田知家 [茨城県近現代史研究会会長 市村眞一]	22,200	[大戦悲話] 報道規制された常磐線大事故
9月号	筑波山鋼索鉄道物語 [インクライン 竹之内響介]	22,200	佐竹氏重臣小野崎氏の盛衰 →3月号へ
10月号	小杉放菴と茨城 [小杉放菴記念日光美術館学芸員 迫内祐司]	22,000	徳川15代将軍のプレーン水戸藩出身の原市之進
11月号	日立市天気相談所 七十年の蓄積 [インクライン 竹之内響介]	21,800	小杉放菴と茨城 →10月号へ
12月号	【特集】身近なオアシスイバラき「道の駅」探訪 [庄司元雄]	21,800	【特集】身近な花木を愛でる
1月号	農政学者 長嶋尉信 [那珂市歴史民俗資料館元館長 仲田昭一]	21,600	(変更なし)
2月号	「常陸国うつろ舟奇談」の謎 [三次豪]	22,800	(変更なし)
3月号	石神小野崎氏の中世 [協力：茨城県立歴史館]	21,300	探訪・母子島遊水地

(2) バックナンバーの販売促進

『常陽藝文』誌上で、「藝文風土記」テーマと関連したバックナンバーを紹介するとともに、セットによる割引販売を実施して販売促進を図りました。

2月号[「常陸国うつろ舟奇談」の謎]は、連携企画である「不思議ワールドうつろ舟」展（常陽史料館）会場での販売を主として824冊売り上げました。

4. 映像制作事業

(1) 自主企画制作

郷土作家の紹介、地域の風物・催事・祭りなどをテーマとしたオリジナル映像を制作、ビデオライブラリーとして公表しています。今年度は、藝文ギャラリー展示作家を中心にインタビューや制作風景を3作品映像化しました。

	制作年月	タイトル
1	2022年5月	航海の中にて 加藤修
2	7月	自由から自遊へ 由良りえこ
3	11月	わらぼっちの里 武石絹枝

(2) 受託制作

県立歴史館令和4年度民俗記録映像制作、大竹山規作品集映像制作
常陽産業研究所オンラインセミナー4本

5. 学苑事業

生涯学習のニーズに対応し、社会人のための学習の場を提供しました。

(1) 通常講座

【講座数・受講生数の状況】

		2022年3月末	2023年3月末	前年同期比
水戸	講座数	79	71	▲8
	受講生数(人)	896	814	▲82
つくば	講座数	35	39	4
	受講生数(人)	350	446	96
合計	講座数	114	110	▲4
	受講生数(人)	1,246	1,260	14

<主な新規講座>

水戸教室：コロナ時代を生きる哲学、はじめての古文書入門編・初級編

水墨画講座、日本の仏像一模刻・修復より(常陽史料館)、有機家庭菜園の座学講座(日本農業実践学園提携)、石神小野崎氏の中世(東海村教育委員会提携)

つくば教室：剪定のススメ、アジア太平洋戦争と茨城、室町期の常陸小田氏、民俗学入門心を調える写経・石粉粘土で作るうさぎ

〈主な終了講座〉

水戸教室：油絵入門・たのしい油絵・織りもの教室・写真教室
つくば教室：脱炭素社会

(2) ビデオ講座

受講生数 117人（前年同期比+50人）

新規制作（6講座7本）

〈4月期〉 ①茨城の城・城郭～中世城下都市・水戸の成立

②③茨城の城・城郭～近世水戸城史 ④茨城の城・城郭～小田城と小田氏

〈10月期〉 ⑤芭蕉・蕪村・一茶が訪れた茨城

⑥はじめての超ひも理論 ⑦柳田國男と祖霊信仰論

(3) その他

4月3日(日) 第63回地方史公開セミナー（参加者59人）

8月5日(金)～9月29日(木) 第38回受講生作品展 会場：藝文プラザ

10月9日(日) 第64回地方史公開セミナー（参加者30人）

6. 施設サービス事業

常陽藝文ホール・藝文プラザ等の施設を、当センター催事・企画展・学苑教室等財団活動の場として活用するとともに、友の会会員や一般向けに発表会・展覧会・会議等の場として貸出を行いました（常陽施設管理㈱からの受託業務）。

【施設貸出状況】

	2021年度	2022年度	増減
施設貸出先数	412	484	72
うち常陽藝文ホール利用先	42	68	26
うち藝文プラザ利用先	11	21	10
施設利用料（千円）	7,805	9,715	1,910

7. 友の会事業

藝文友の会会員の満足度向上を図るため、ふれあい催事等の会員特典の充実と円滑な提供に努めました。

(1) 会員の入退会状況

	入会	退会	2023年3月末 会員数	前年同期比
個人会員(人)	233	2,064	19,091	▲1,831
法人会員(口)	7	46	1,085	▲39
合計	240	2,110	20,176	▲1,870

【計画対比】

	2022 年度計画	2022 年度末実績	年度計画比
個人会員（人）	19,520	19,091	▲429
法人会員（口）	1,162	1,085	▲77
合 計	20,682	20,176	▲506

(2) 友の会会員特典の実施

① 文化情報誌『常陽藝文』の配布

平常号10冊、特集号（6月・12月）2冊 合計12冊配布

② ふれあい催事の開催

開催日	会 場	演 目	入場者数
2022 年 6月22日(水)	常陸太田市民交流センター パーティホール	加羽沢美濃&山田姉妹 コンサート	366
10月5日(水) 6日(木)	つくば市立ノバホール	来生たかおコンサート	1,587
10月12日(水)	日立市民会館	鼓童交流公演2022	683
12月21日(水)	神栖市文化センター	藝文寄席 「柳家花緑&柳家三三 二人会」	316
2023 年 2月22日(水)	結城市民文化センター アクロス	川久保賜紀・笹沼樹・三船優子 コンサート	381
3月22日(水) 23日(木)	ザ・ヒロサワシティ会館 (茨城県立県民文化センター)	岩崎宏美&岩崎良美コンサート	4,332
合 計			7,665

③ 藝文ホール催事の開催

開催日	演 目	入場者数
2022 年 4月9日(土)	第4回 藝文コンサート奏	118
5月29日(日)	「ある町の高い煙突」上映会&トークショー	195
7月10日(日)	國井美香アルトリサイタル	156
9月18日(日)	第10回 茨城の名手・名歌手たち藝文コンサート	90
10月23日(日)	第5回 藝文コンサート奏	102
11月6日(日)	第16回 藝文フレッシュコンサート	236
2023 年 1月29日(日)	野口雨情生誕140周年記念コンサート	279
2月5日(日)	第11回 茨城の名手・名歌手たち藝文コンサート	132
合 計		1,308

④ 提携文化施設入場料割引対象施設

(2023年3月31日現在：計47施設)	
【美術館】	13施設 茨城県近代美術館・茨城県つくば美術館・茨城県天心記念五浦美術館・茨城県陶芸美術館 大洗美術館・笠間日動美術館・月山寺美術館・古河街角美術館・しもだて美術館・春風萬里荘 篆刻美術館・水戸芸術館現代美術ギャラリー・諸橋近代美術館
【博物館】	20施設 アクアワールド茨城県大洗水族館・板谷波山記念館・茨城県立歴史館・大洗海洋博物館 大洗幕末と明治の博物館・北茨城市歴史民俗資料館（野口雨情記念館）・ギター文化館 古河文学館・古河歴史博物館・下妻市ふるさと博物館・大本山願入寺開基堂 常磐神社義烈館・常陸大宮市山方淡水魚館・日立市かみね動物園 日立シビックセンター科学館天球劇場・常陸風土記の丘・本場結城紬染織資料館手緒里 水戸市立博物館・ミュージアムパーク茨城県自然博物館・予科練平和記念館
【健康・スポーツ・体験施設】	14施設 阿字ヶ浦温泉のぞみ・奥久慈茶の里公園・きぬの湯・四季彩館・乗馬クラブクレイン竜ヶ崎 竜っちゃん乃湯・つくば牡丹園・つくば湯・ぬく森の湯・ピアスパークしもつま温泉施設 ホロルの湯・森林の温泉・八千代グリーンビレッジ憩遊館・竜神大吊橋

8. 史料館事業

「貨幣ギャラリー」では、「お金の歴史・銀行の歴史」を常設展示するとともに、「アートスポット」での企画展の実施、「史料ライブラリー」での蔵書公開により、地域への浸透を図りました。

(1) 総来館者数 21,837人 1日平均 72人(前年比+20人)

(2) アートスポット企画展

期 間	展 覧 会 名	日数	入場者数	1日平均
2022年 4月1日(金)～5月22日(日)	彦坂禮三 和紙ちぎり絵の世界展	45	3,392	75
5月31日(火)～7月17日(日)	陶人形 田崎太郎展	42	3,113	74
7月26日(火)～9月18日(日)	ぼぼぼ本舗 あみぐるみ展	46	3,269	71
9月27日(火)～11月13日(日)	日本の仏像展 －模刻・修復作品より－	42	2,787	66
2023年 11月22日(火)～1月15日(日)	田山稔夫書展	41	2,246	55
1月24日(火)～3月19日(日)	不思議ワールド うつろ舟	48	5,544	116
合 計		264	20,351	77

【企画展関連イベント】

開催日	イベント内容	参加人数
2022年5月11日(水)	ワークショップ 和紙ちぎり絵制作「瀬戸内海」	12
8月5日(金),10日(水) 9月10日(土)	ワークショップ 魚のオーナメントを作ろう 魚のあみぐるみを編もう	28
10月16日(日)	仏像講座 神崎寺の木造不動明王立像について	41
11月3日(木)	仏像講座 聖林寺十一面観音菩薩立像の光背について	38
12月11日(日)	ワークショップ 色紙に干支を書く	9
2023年3月11日(土)	子ども向け古文書講座 みんなで古文書を読んでみよう!	20

(3) 史料ライブラリー

- ① 利用者総数 2,522人 1日平均 8人(前年比▲1人)
うちレファレンス利用 173件(前年比+24件)

② 蔵書数

	冊数	前年比		冊数	前年比
郷土資料	24,729	134	参考図書	1,574	0
金融図書	2,585	12	一般図書	5,880	24
			合計	34,768	170

③ 図書資料展

期 間	展 示 名
2022年4月1日(金)～5月22日(日)	野 口 雨 情
5月31日(火)～7月17日(日)	「吾妻鏡」の時代
7月26日(火)～9月18日(日)	お金について調べよう
9月27日(火)～11月13日(日)	茨城の寺と仏像
11月22日(火)～2023年1月15日(日)	小 杉 放 菴
1月24日(火)～3月19日(日)	茨 城 の 民 話

(4) 金融教育関連

貨幣ギャラリーの周知による来観者増加を図るため、史料館ツアーと称し職員による展示の案内を実施しました。(11回開催 65人参加)

また、地域の学生を対象に講座を随時実施しました。

以 上